



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

取り組みを具体化し8月末までに250,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう！

「友人や同業者に回った」と一人で100筆を越える署名！ みんなで励まし合って600筆！（長野・社会福祉法人協立福祉会）

あずみの里では、署名目標を全職員1人『5枚（25筆）』に取り組みました。そんな中、職員同士の競争心に火が付き？励まし合い、取り組みが盛り上がりを見せました。約一ヶ月で、一人ひとりの割り当て分をはるかに超え、なんと600筆！！を集めました。

職場はどこかというと老健2階職員集団です。中でも2列目向かって右隅の方は、「友人や同業者を回った」と一人で100筆を越える署名を集めてきました。彼の名は、2階介護主任「志川康雄さん」です。

この勢いは留まることを知らず、7月の部会にて更に100枚の署名を分け合いました。この取り組みは、「一人の力は小さいけれど、その力が集めれば大きな力となる」という言葉そのものです。どこまで行くか楽しみな集団です。



友の会の方と「地域行動」片言の英語で訴え！



友の会の方との「地域署名行動」は明科支部の方々と、明かした地域を回りました。小高い岡の上に、県営住宅と一戸建て住宅が隣接している集落に入りました。県営住宅には、外国人の方が多く、職員も焦りながら、片言の英語を交え訴えましたが、帰ってくる多くは「ワタシショットワ～カリマセン」・・・。玄関先に目を落とせば、履き古した靴があり、「どうしたんだ」と感じるお宅が多かったのが印象的でした。今後、この場所で何かしたいなーと感じた地域でした。

（09年介護運動ニュース in 福祉会 No.4 7月発行より）

介護ウェーブ布施宣伝行動を実施！！

法人全体で53名の職員が参加（大阪・医療生協かわち野）

医療生協かわち野（東大阪市・八尾市）では、7月29日夕方に布施駅ビブレ前で「介護保険改善」を訴えて署名活動を行いました。「介護ウェーブ」推進委員を中心に法人全体での取り組みにしようと参加を呼びかけ、各事業所の介護職員は基よりたくさんの参加があり、看護師さん、検査技師さん、調理師さん、事務員さん、MSWさん、リハ士さん、と文字通り法人あげて他職種協同の取り組みになります。総勢53人も集まってくれ、「介護ウェーブ」推進委員も感激です。

推進委員手作りの「訴え文」を介護職員が中心にマイクを持って訴え、初めての経験者は「緊張したけど、最後まで読めてよかった～」と話していました。署名は約1時間で134筆を集めることができました。「20～30台の若い人も多く、趣旨を説明し納得して書いてくれた。」《平出副事務長》「中年層のおばちゃんは「十数年後の自分の老後が心配やわ～」と30分近くしゃべっていかれた」《水口CM》「急ぎ足の人に止まつもらるのは難しいけど、座っている人に声をかけていくと署名書いてくれた」《久保施設長》など反響もありました。伊藤CWは「署名の前にチラシを見せて説明しないと知らない人も多く、まだまだ世間に关心は薄いと感じた。これからも働きかけていくことが大切だと思った。」と感想を寄せてくださいました。「介護ウェーブ09」がいよいよ本格的に動き出しました。これからも地域や行政に対し訴えを行ない、皆様の力で大きなうねり＜ウェーブ＞を作りましょう！



（医療生協かわち野 介護ウェーブ推進ニュース 第14号 2009年7月31日より）

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp